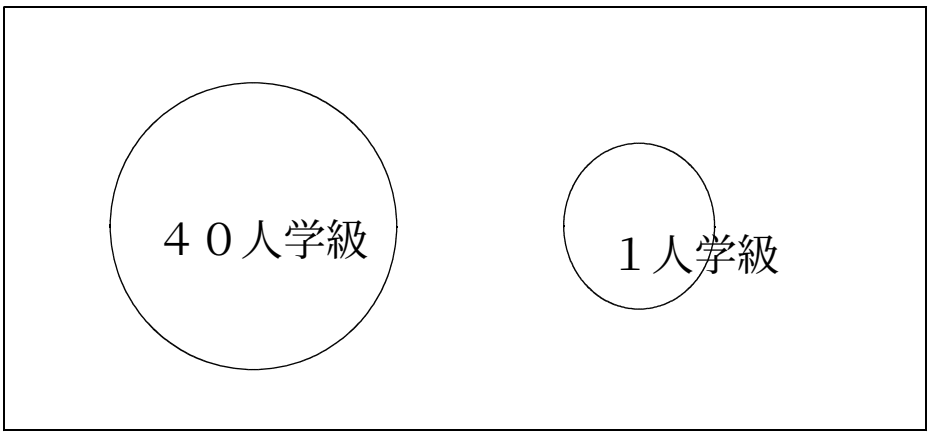
「全国の学級数の平均」というごまかし

　平均というと一見正しく現実を反映していると思ってしまいます。しかし、次の例で考えてみると。単純に平均の学級数を計算することが間違っていることがわかります。

２学級（４１人）



文科省の平均学級数の出し方だと
　（４０＋１）／２＝２０．５
　平均２０．５人と言うことになりますが、これが現実にそっていると言えるのでしょうか。一人一人に、何人学級か聞いてみましょう。４１人中４０人が「４０人学級と答えます。」、平均が２０人学級なんて印象を持ってないはずです。
　特に、日本は過疎地に行くと学級の人数（数名）が少なくなっています。分校などもたくさんあります。

　この印象を正しく反映する計算は次のようにします。

（４０×４０＋１×１）÷（４０＋１）　３９．０５（約）
　３９．０５人ならば印象を正しく反映していますね。

※４０人が４０人学級である。
※１人が１人学級である。
※全ての人数４０人＋１人